

15-09

2015年3月30日

報道関係各位

MSD株式会社

MSD株式会社
子宮頸がん啓発キャンペーン「子宮頸がん “私の問題”」を本日開始
疾患啓発の特設サイトを開設
この病気の本当の怖さは「知られていないこと」

MSD株式会社(本社:東京都千代田区、社長:トニー・アルバレス)は、本日から、「子宮頸がん “私の問題”」をテーマに子宮頸がん啓発キャンペーンを開始いたします。

MSDが昨年7月に13~50歳の女性1,800人を対象に実施した「子宮頸がんに関する認知調査※¹」によると、多くの女性が「若い女性で子宮頸がんが増えている」ことは知っているものの、子宮頸がんとその治療がもたらす具体的な身体的・精神的負担について、ほとんど知られていないことが明らかになりました。

こうした背景からMSDは、この病気の本当の怖さは「知られていないこと」ではないかと考え、子宮頸がんの実態とこの病気が女性の人生に与える影響を正しく理解していただくことを目的に、啓発キャンペーンを開始いたします。

本キャンペーンでは、特設サイトを開設し、子宮頸がんの発症年齢や発症率など、子宮頸がんに関する7つの事実を視覚的に伝えるインフォグラフィックや、患者さんやそのご家族などの実話をもとにしたショートストーリーを紹介します。また、新聞広告やインターネット広告の他、女性専用車両での中吊り広告やトレインチャンネルで、女性の方々が子宮頸がんを「私の問題」として捉えるきっかけを提供してまいります。

なお、本キャンペーンは、関連する医会・学会、患者会、啓発団体、企業にもご賛同いただき、ご後援をいただいております。

子宮頸がんは、毎年約10,000人も女性の新たに子宮頸がんにかかり、約3,000人が亡くなっています※²。また、発症年齢が出産や働き盛りの年齢とも重なり、治療によって命を取りとめても女性の人生に大きな影響を及ぼすことが多い疾患です。子宮頸がんは、予防が期待できるにもかかわらず、日本女性の検診率は37.7%で、先進諸国(60~80%)を大きく下回っています※³。

MSDは、本子宮頸がん啓発キャンペーンを通じて、日本女性の健康にさらに貢献できるよう努めてまいります。

※1 MSDニュースリリース 2014年8月29日「子宮頸がんに関する認知調査を実施 13~50歳女性の60~85%が子宮頸がんの実態を理解せず」

※2 厚生労働省 子宮頸がん予防ワクチンQ&Aより

※3 Health Care Quality Indicators Project, OECD 2011. OECD Health Data 2011 (cervical cancer screening)

■キャンペーン概要

名称: 子宮頸がん啓発キャンペーン「子宮頸がん “私の問題”」

実施期間: 2015年3月30日~2015年末

展開媒体: 新聞広告、交通広告、インターネット広告、特設サイトなど

主催: MSD株式会社

後援: 日本医師会、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本婦人科腫瘍学会、がんフォーラム山梨、
キャンサーネットジャパン、Think Pearl、乳がん患者友の会きらら、株式会社キアゲン、
グラクソ・スミスクライン株式会社、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

■ インフォグラフィックとショートストーリーを特設サイトで紹介

子宮頸がんに関する様々なデータを視覚的に伝えるインフォグラフィックや、患者さんやそのご家族などの実話にもとづいたショートストーリーをとおして、決して他人事ではない子宮頸がんの事実を伝えます。

特設サイト: <http://www.shikyukeigan.jp/>

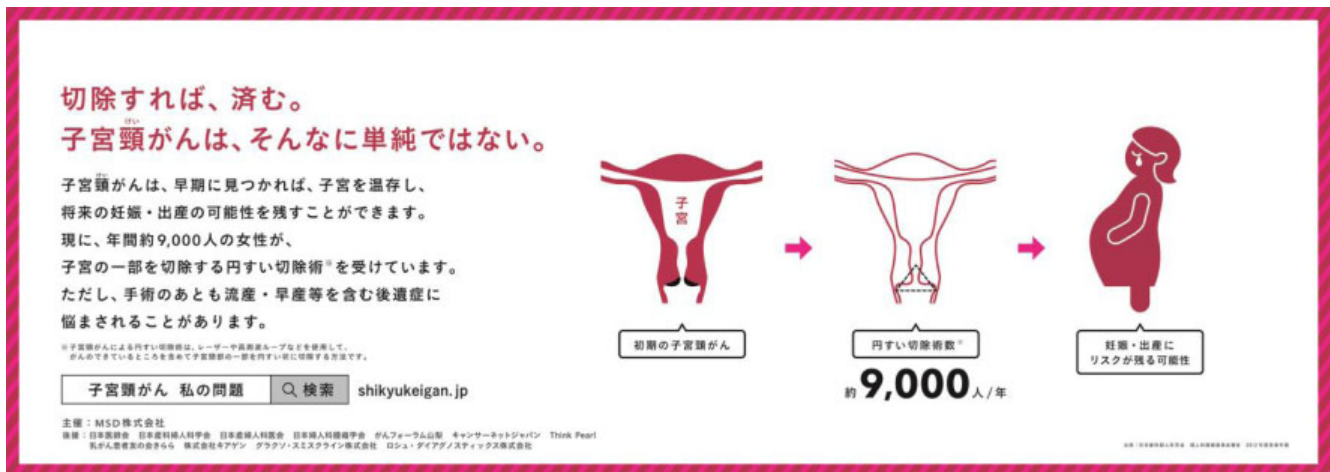
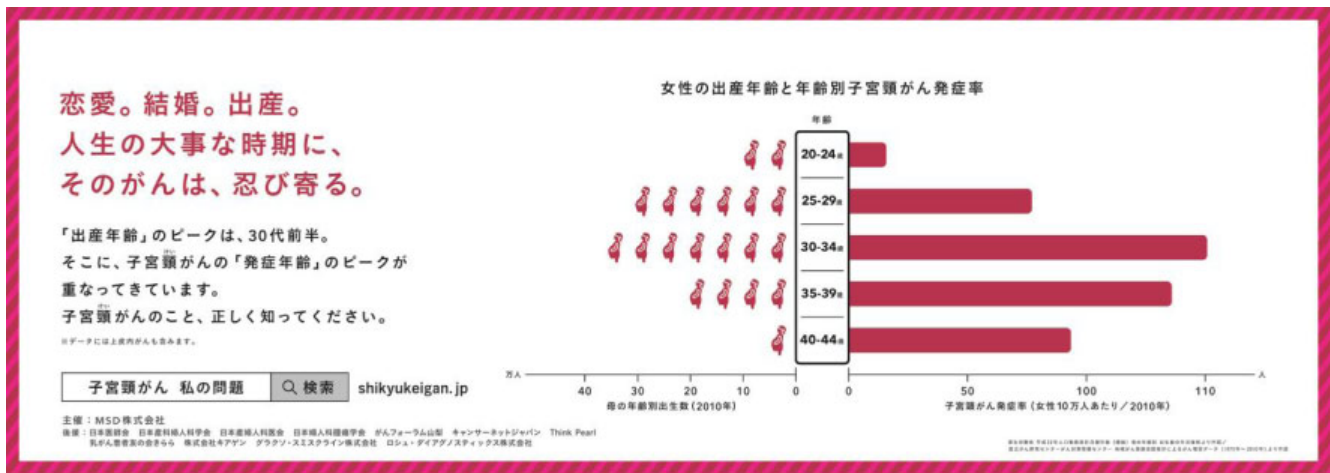
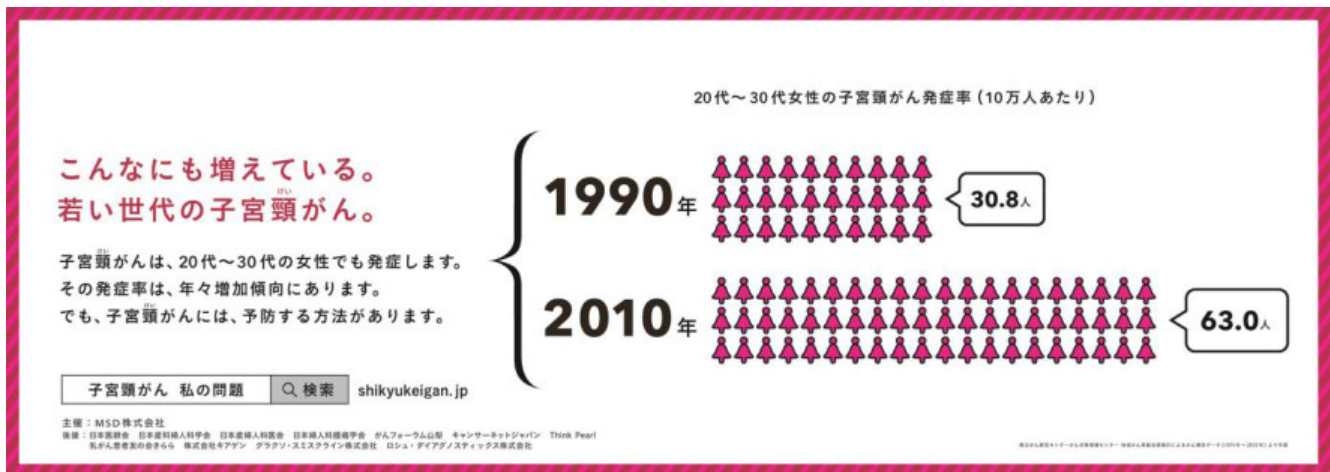
<インフォグラフィック>

子宮頸がんに関する7つの事実を、視覚的に伝えるインフォグラフィックで紹介します。

全7種類のインフォグラフィックは、MSDホームページ「ニュースルーム」に掲載している本プレスリリースから一括ダウンロードできます。

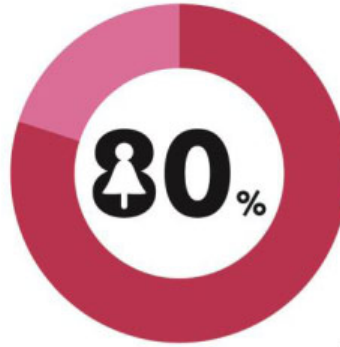
MSDホームページ「ニュースルーム」:

http://www.msd.co.jp/newsroom/msd-archive/2015/Pages/corporate_0330.aspx



子宮頸がんの原因は、ほとんどの女性が感染するウイルスだった。

性交経験がある女性のHPV感染率



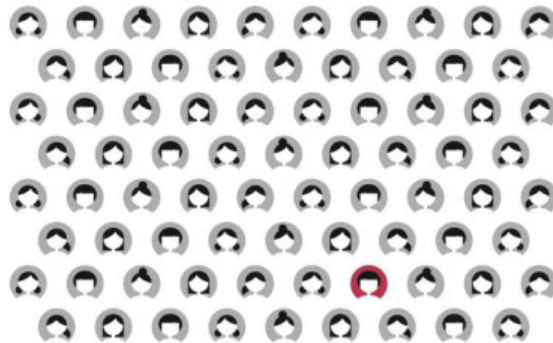
子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス (HPV) という、ごくありふれたウイルス。
性交経験がある女性の80%以上が、50歳までに感染を経験するといわれています。
多くの場合、感染は一時的なものですが、長く感染がつづいた場合、がんの原因になることがあります。

子宮頸がん 私の問題 検索 shikyukeigan.jp

主催：MSD株式会社
協賛：日本医師会 日本産科婦人科学会 日本産婦人科協会 日本婦人科連合会 がんフォーラム公益 がんサーキットジャパン Think Pearl
乳がん患者会の会から 株式会社キアゲン クラウド・システムズ株式会社 ロシュ・ディアグノスティクス株式会社

© 2014 MSD株式会社

友達の誰かが、このがんになるかもしれない。その前に、自分かもしれない。



子宮頸がんは、決して特別な病気ではありません。
日本では、女性の約76人に1人が、生涯にかかるリスクがあります。
子宮頸がんのこと、正しく知ってください。

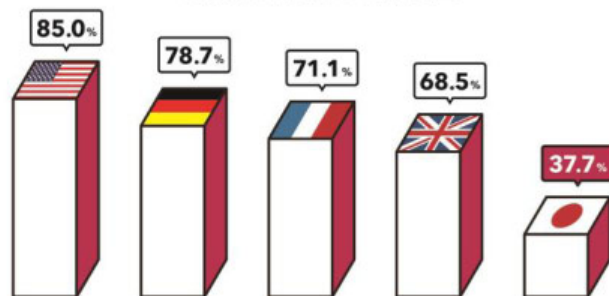
子宮頸がん 私の問題 検索 shikyukeigan.jp

主催：MSD株式会社
協賛：日本医師会 日本産科婦人科学会 日本産婦人科協会 日本婦人科連合会 がんフォーラム公益 がんサーキットジャパン Think Pearl
乳がん患者会の会から 株式会社キアゲン クラウド・システムズ株式会社 ロシュ・ディアグノスティクス株式会社

© 2014 MSD株式会社

子宮頸がん検診は、女性にとって当たり前になっている。日本以外では。

世界各国の子宮頸がんの検診受診率



初期の段階では自覚症状がない子宮頸がんは、検診で早期に発見することが重要。
日本の検診受診率は、残念ながら、先進国の中でも低い割合になっています。

子宮頸がん 私の問題 検索 shikyukeigan.jp

主催：MSD株式会社
協賛：日本医師会 日本産科婦人科学会 日本産婦人科協会 日本婦人科連合会 がんフォーラム公益 がんサーキットジャパン Think Pearl
乳がん患者会の会から 株式会社キアゲン クラウド・システムズ株式会社 ロシュ・ディアグノスティクス株式会社

OECD加盟国における20～69歳の女性(2011年)

© 2012 OECD. Reprinted with permission from OECD. All rights reserved.

この国では、毎年3,000人もの女性の命が、子宮頸がんによって奪われつづけている。

子宮頸がんて毎年亡くなる女性の人数



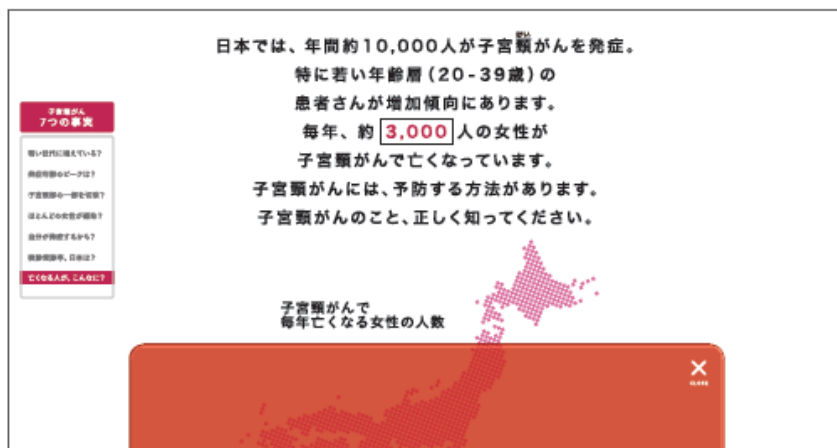
年間約10,000人が子宮頸がんを発症。
最近では、特に若い年齢層(20～39歳)の患者さんが増加傾向にあります。
毎年、約3,000人の女性が子宮頸がんて亡くなっています。
子宮頸がんには、予防する方法があります。
子宮頸がんのこと、正しく知ってください。

子宮頸がん 私の問題 検索 shikyukeigan.jp

主催：MSD株式会社
協賛：日本医師会 日本産科婦人科学会 日本産婦人科協会 日本婦人科連合会 がんフォーラム公益 がんサーキットジャパン Think Pearl
乳がん患者会の会から 株式会社キアゲン クラウド・システムズ株式会社 ロシュ・ディアグノスティクス株式会社

© 2014 MSD株式会社

4月7日からは、画面をスクロールすることにより、赤いチェックシートで子宮頸がんに関するデータやキーワードを確認しながらインフォグラフィックを見ることができるようになります。



<ショートストーリー> (4月7日公開)

子宮頸がんの患者さんやそのご家族、子宮頸がん患者さんに日々向き合われている医師の実話をもとに、脚本家の藤井清美氏、小説家の黒崎薫氏が書き下ろした4つのショートストーリーを紹介します。

「子宮頸がんの可能性が非常に高いです。すぐに大きな病院に行つて下さい」医師の声に、かすかな緊迫を亜矢子は読み取った。お医者さんもこんな声出すんだ・・・意外に思っているうちに、いくつかの病院の名前を告げられ、どこに行くかと選択を迫られていた。

作 藤井清美 黒崎薫

■ 広告

新聞広告、交通広告、インターネット広告を介して、順次、子宮頸がんに関する情報提供を行います。

交通広告は、4月20日～26日にかけて、JR東日本の首都圏エリアの女性専用車両内で、インフォグラフィックの中吊り広告やトレインチャンネル(動画放映)での広告を展開します。

MSDIについて

MSDIは、すこやかな世界の実現を目指して努力を続けるグローバルヘルスケアリーダーです。医療用医薬品、ワクチン、バイオ医薬品およびアニマルヘルス製品の提供を通じてお客様と協力し、世界140カ国以上で事業を展開して革新的なヘルスケア・ソリューションを提供しています。また、さまざまなプログラムやパートナーシップを通じて、医療へのアクセスを推進する活動に積極的に取り組んでいます。MSDIの詳細については、www.msd.co.jp をご参照ください。

<お問い合わせ先>

MSD株式会社 広報部門(担当: 嶋本)

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア

TEL:03-6272-1001 FAX :03-6238-9136